

# シリーズ 土地改良のあしあと 丹生土地改良区(多気町)



竣工記念碑

## ・地区の概要

本地区は、三重県の中南勢に位置し平成18年1月に多気町、勢和村との合併した新生多気町の勢和地域に位置しています。

勢和地域の北東部櫛田川の右岸に広がる中山間地で、立梅用水を取水源とし受益面積110haとなっています。

水利状況は、昭和62年に県営ほ場整備事業により用水が整備され灌漑している一方、排水もほ場整備事業時に整備され櫛田川に自然排水しています。

## ・地区の沿革

本土地改良区は、昭和62年8月10日に県営ほ場整備事業の認可を受け、設立着工以来5年の歳月を得て総工費1,409百万円を要し、平成5年3月に完了しました。

ほ場整備により用排水の整備と併せて農道整備も行い、大型作業機械での耕作が可能になり効率化が進んでいます。

また、ほ場整備された受益面積の殆んどは3年間でのブロックローテーション方式による集団転作を実施しており、平

成13年より麦作後大豆の栽培も定着し、病虫害防除共同作業も汚染の少ないラジコンヘリ防除に切り替え、平成18年11月当地区にて営農組合を設立し、さらに農地・水環境保全向上対策の一環として品目横断的経営安定対策事業への取組み、担い手育成、減農薬の取組みや大型作業機械の導入を図り平成23年11月9日農事組合法人丹生営農組合を設立し、経済的地位の向上を図っています。

本地域は、旧丹生村の地土、西村彦左衛門翁が約192年前に飯南町立梅より丹生迄約28kmに渡る水路を完成させ、勢和地域全域の農業発展に大きく寄与されました。

## ・今後の土地改良区

事業として取り組んできたほ場整備事業の借入金償還が平成26年度で完済となり、現在土地改良区の業務は農地・農道・用排水路などの土地改良区施設の維持管理を行っています。

(理事長 中村豊實)



広がる農地



広がる農地